

# ふくおか 県学歯



糸田祇園山笠

2016. 8 No.89

# Contents

○巻 頭 言 .....	杉原 瑛治	1
○平成27年度 臨時総会 .....		2
○平成28年度 事業計画 .....		3
○平成28年度 一般会計予算 .....		4
○平成28年度 定時総会 .....		5
○第21回研究大会ご案内 .....		5
○郡市区だより		
門 司 .....	大溝 法孝	6
柳川山門 .....	松藤 拓之	7
八 幡 .....	楠本 俊司	8
八女筑後 .....	田中 秀明	9
若 松 .....	今井 顯	10
朝 倉 .....	古賀 崇道	11
飯 塚 .....	丸林 睦明	12
糸 島 .....	加納啓一郎	13
○西日本子ども歯科保健・健康会議 .....	須ノ内茂子	14
○歯 鏡 .....	一之瀬達也	15
○第89回日学歯総会報告 .....	三箇 正人	16
○第90回日学歯総会報告 .....	柳迫 正俊	17
○「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修会		
併催 福岡県学校歯科医新任研修会 .....	楠本 俊司	18
○トピックス .....		20
○マウスガード講習会 .....	樋口 太郎	22
○表 彰、事業報告、会務報告 .....		23
○物故会員、公告、予告、編集後記 .....		25

## 県学歯の現況

会長 杉原 瑛 治



熊本地震で災害に遭われた方々、またご親族の方にお見舞い申し上げます。まだまだ支援の必要な方々がたくさんいます。口腔ケアのできていない人たちの継続的なお手伝いが必要だと思います。家が倒壊し、避難所を転々とさせられ大変な思いをされている方々の中には私たちが察しのつかないこともたくさんあると思います。メンタル面でのケアの必要な子供がたくさんいるそうです。すべて早く解決できることを心より祈っています。役員委員でお見舞い金を集め熊本県教育委員会に子供たちを支援するために使ってくださいと私自身が持参しました。

3月の臨時総会で会費の値上げをしました。これは同じ団体からの出務で不平も言わずに委員会等の出席をしていただき申し訳ないと思いきその差を幾らかでも無くすためでした。ご協力ありがとうございました。昨年の研究大会以後、諸事情により日本学校歯科医会会長の交代があり3月の総会で日本学校歯科医会の不肖杉原が副会長職になりました。連絡係として十分働かせていただきます。日学歯には三箇、平瀬、黒岩各先生に委員として出向していただいています。学校歯科医の在り方、広報、研修制度、事務局体制、システム、文科省との関係、いろいろな問題が山積みされています。日学歯は何をしたらよいか焦点がずれてはいまいか、岡目八目で、手探りです。また県学歯会長として情報を早めに得て持ち帰り活動に無駄のないように生かし、理事ともども新しい気持ちで出発をしています。

福岡県学校歯科医会に関係する皆様のお力で5月「西日本子ども歯科保健・健康会議」を立ち上げ、発会式ができました。この会議は学校での保健問題を学校教職員、保護者、学校歯科医、歯科衛生士、歯科大学関係者、行政をはじめ関係者が一堂に会し、決めたテーマを一緒に考察・会議したいと思いき発足しました。この会議は地域学校保健委員会の様な立場と位置付けています。多くの問題点を共有して一緒に解決しながら会議し、研究大会とは別の目的を持っていますが、共に連携していきます。

一般社団法人になり単年度決算の方法を変え、年度初めに500万円借用し年度内にお返しできました。また理事が委員会の運営を責任持って統率することも順調に進んでいます。歯科健診結果統計調査は公立小・中に加え昨年度より県立高校も集計を行い、福岡市の小中学校の資料も参考に少しずつ県下全域の集計が現実味を帯びてまいりました。小学校でのフッ化物洗口に関しまして学校歯科医の先生は職務の一部として行う方向で進みつつありますが現在この件はまだまだ話し合うことがたくさんあります。児童・保護者・教職員が困らない方法で進めたいと思います。

今年の4月より歯科健診票の記載内容が若干変わりました。広報によりお知らせしています。ホームページをご覧ください。

学校歯科医会並びに学校歯科医を社会に認識していただくための一手段としても研究大会にもっともっと力を注いでいきたいと思いきいます。また加盟団体より多くのご出席いただき、会員の先生にも、ご協力いただきたいと思いきいます。養護教諭にも先生方から出席をお願いしていただき、沢山のお力を借りたいと思いきいます。それにより徐々に素晴らしい研究大会になると思いきいます。最後になりましたが歯科保健は疾病志向から健康志向へ大きく舵を切りました。それにより先生方は健康診断に加えて学校歯科保健の管理、指導者として学校保健委員会等での指導発言が大切になりました。今後益々の先生方のご活躍に期待をしています。挨拶が報告になりましたが今後ともよろしくご指導ご鞭撻をください。

# 平成27年度 臨時総会



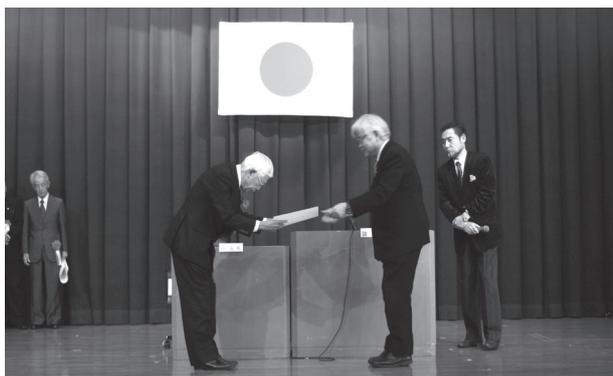
日 時 平成28年3月19日（土）午後3時00分～  
場 所 福岡県歯科医師会館5階 大ホール

★平成27年度 臨時総会（第103回） 34名出席

1. 点 呼 代議員34名中34名出席
2. 開 会 副 会 長 三 箇 正 人
3. 会長挨拶 会 長 杉 原 瑛 治
4. 物故会員の弔慰
5. 平成27年度表彰
  - (1) 会長表彰
  - (2) 会員表彰
  - (3) 功労者表彰
  - (4) 団体表彰
  - (5) 褒賞状授与
6. 議事録署名人の指名
 

議 長（八 幡）	原 田 孝 昭
東地区（直 方）	前 田 仁
北地区（戸 畑）	柴 田 和 成
7. 報 告
  - (1) 会務報告 専務理事 平 瀬 久 義
  - (2) 会計現況報告 常務理事 原 野 啓 二

- |          |   |
|----------|---|
| (3) 監査報告 | 監 事 吉 川 容                                   |
| 8. 決議事項  |   |
| 第1号議案    | 総会議長・副議長の選任について 可決                          |
| 第2号議案    | 平成28年度事業計画について 可決                           |
| 第3号議案    | 平成28年度一般会計予算について 可決                         |
| 第4号議案    | 平成28年度基本財産積立金特別会計予算について 可決                  |
| 第5号議案    | 平成28年度職員退職積立金特別会計予算について 可決                  |
| 第6号議案    | 平成28年度福岡県学校歯科医会費・賦課徴収及び日本学校歯科医会費賦課徴収について 可決 |
| 第7号議案    | 一般社団法人福岡県学校歯科医会表彰及び慶弔規則の一部改正について 可決         |
| 9. 協 議   |   |
| 10. 閉 会  | 副 会 長 須ノ内 茂 子                               |



# 平成28年度 福岡県学校歯科医会事業計画

## 1. 事業

- (1) 学校歯科保健に関する調査研究
  - ① 歯科健康診断統計調査の推進・活用
  - ② 私立学校における歯科保健活動の調査研究
- (2) 学校歯科保健に関する普及啓発
  - ① 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業
  - ② よい歯の学校表彰
  - ③ 全日本学校歯科保健優良校表彰応募校の審査・推薦
  - ④ 歯・口の健康に関する図画・ポスターの募集（審査・表彰）
  - ⑤ 歯・口の健康啓発標語の募集（審査・表彰）
  - ⑥ 加盟団体の学校歯科保健事業へ協力
  - ⑦ 歯科健康診断方法の普及・指導
  - ⑧ 食に関する歯・口の健康づくりの推進
  - ⑨ 特別支援学校への歯科保健活動の推進
- (3) 学校歯科保健に関する研修会、研究発表等の開催
  - ① 第21回福岡県学校歯科保健研究大会の開催
  - ② 歯・口の健康づくり推進協議会の開催
  - ③ 福岡県学校歯科医研修会の開催
  - ④ 新任研修及び基礎研修会の開催
  - ⑤ スポーツ歯学に関する研修（マウスガード等）
  - ⑥ その他必要な研修事業
- (4) 学校歯科保健関係者に対する指導助言
  - ① 「学童期むし歯予防推進事業」への協力
  - ② 学校歯科保健関係者への指導・助言・協力
  - ③ 加盟団体との情報交換
- (5) 学校歯科保健行政に対する協力
  - ① 学校歯科保健教育に関して行政へ協力
- (6) 機関紙及び刊行物の発行
  - ① 会報・特集号（図画・ポスター・標語）の作成
  - ② 広報活動の推進
- (7) 本会に顕著な業績のあった者及び団体を推挙又は表彰  
顕彰事業
  - ① 福岡県学校歯科医会  
表彰状の授与  
褒賞状の授与  
感謝状の授与
  - ② 表彰受賞者推薦  
日本学校歯科医会会長表彰  
文部科学大臣表彰  
叙勲
- (8) その他目的を達成するために必要な事業
  - ① 平成28年度全国学校保健・安全研究大会への参加研修（北海道札幌市）
  - ② 第66回全国学校歯科医協議会への参加研修（北海道札幌市）
  - ③ 第80回全国学校歯科保健研究大会への参加研修（東京都文京区）

- ④ 平成28年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会への参加研修（熊本県熊本市）
- ⑤ 第15回九州地区健康教育研究大会（福岡県福岡市）
- ⑥ 日本学校歯科保健・教育研究会への参加研修

## 2. 助成関係

- (1) 加盟団体関係事業への助成

## 3. 福岡県学校歯科医会運営の充実

- (1) 日本学校歯科医会・福岡県学校保健会・福岡県歯科医師会、その他関係諸団体との連携
- (2) 加盟団体との連携
- (3) 制度並びに組織機構の整備と充実（内規を含めた規則の見直し）
- (4) その他本会目的達成のための事業

## 4. 常任委員会活動

### ★学術委員会

- (1) 福岡県学校歯科保健研究大会の企画、運営
- (2) 福岡県学校歯科医研修会の企画、運営
- (3) 学校歯科保健活動のための資料収集、作成
- (4) フッ化物応用について
- (5) 新任研修及び基礎研修会の企画、運営

### ★普及指導委員会

- (1) 学校歯科保健事業に関する普及指導
- (2) 加盟団体の指導啓発事業への協力
- (3) スポーツ歯学（マウスガード等）についての研修会の実施
- (4) 健康診断票について
- (5) 「学童期むし歯予防推進事業」について
- (6) 「歯・口の健康マニュアル」の作成

### ★制度調査委員会

- (1) 歯科健康診断統計調査報告書の作成
- (2) 健診結果の分析と対策
- (3) よい歯の学校表彰推薦校の選出

### ★広報委員会

- (1) 県学歯会報の作成（年2回／1月・8月発行予定）
- (2) 図画・ポスター・標語特集号の発行
- (3) ホームページの作成
- (4) 対外的広報活動の実施
  - ① 県学歯事業に関すること
  - ② 加盟団体、各種大会に関すること
  - ③ 関係諸団体、各種大会に関すること
- (5) 周年事業の為の資料収集・整理

## 平成28年度 一般会計予算

収入予算額	34,441,000 円
支出予算額	34,441,000 円
差引額	0 円

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	28,519,000	26,461,000	
会費収入	28,518,000	26,460,000	2,058,000
過年度会費収入	1,000	1,000	0
寄付金収入	1,000	1,000	
寄付金収入	1,000	1,000	0
助成金収入	488,000	592,000	
助成金収入	488,000	592,000	△104,000
雑収入	43,300	433,000	
受取利息収入	3,000	3,000	0
広告協賛収入	400,000	400,000	0
雑収入	30,000	30,000	0
他会計繰入金収入	5,000,000	5,000,000	
他会計から繰入金収入	5,000,000	5,000,000	0
事業活動収入計	34,441,000	32,487,000	1,954,000
2. 事業活動支出			
会議費	5,480,000	5,430,000	50,000
総会費	1,170,000	1,170,000	0
理事会費	2,590,000	2,590,000	0
諸会議費	1,720,000	1,670,000	50,000
事業費支出	12,580,000	10,850,000	1,730,000
学術委員会費	800,000	500,000	300,000
普及指導委員会費	660,000	415,000	245,000
制度調査委員会費	860,000	560,000	300,000
広報委員会費	660,000	415,000	245,000
指導・啓発費	1,740,000	1,450,000	290,000
研究・研修費	1,730,000	1,400,000	330,000
歯科保健教育推進費	2,250,000	2,000,000	250,000
渉外費	1,500,000	1,500,000	0
表彰・慶弔費	1,300,000	1,530,000	△230,000
助成交付金	1,080,000	1,080,000	0
事務費支出	12,710,000	12,340,000	370,000
弁償費	1,650,000	1,490,000	160,000
旅費	1,380,000	1,380,000	0
通信費	700,000	600,000	100,000
需用費	420,000	600,000	△180,000
印刷費	450,000	400,000	50,000
備品消耗品費	350,000	300,000	50,000
職員雇用費	6,180,000	6,070,000	110,000
厚生費	1,230,000	1,150,000	80,000
雑費	350,000	350,000	0
事務所費	2,200,000	2,200,000	
事務所費	2,200,000	2,200,000	0
負担金	200,000	200,000	
県学校保健会負担金	200,000	200,000	0
他会計への繰入金支出	615,000	140,000	
基本財産積立金会計繰入金	0	0	0
職員退職積立金会計繰入金	615,000	140,000	475,000
事業活動支出計	33,785,000	31,160,000	2,625,000
事業活動収支差額	656,000	1,327,000	△671,000
II. 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III. 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV. 予備費支出	656,000	1,327,000	△671,000
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0



# 平成28年度 定時総会

日 時 平成28年 6月11日 (土) 午後 3時00分～  
場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール

★平成28年度 定時総会 (第104回) 33名出席

1. 点 呼 代議員34名中33名出席
2. 開 会 副 会 長 三 箇 正 人
3. 会長挨拶 会 長 杉 原 瑛 治
4. 物故会員の弔慰
5. 議事録署名人の指名  
議 長 (八 幡) 原 田 孝 昭  
西地区 (粕 屋) 伊 山 慎 二  
南地区 (大川三潁) 堤 清 之
6. 報 告  
(1) 会務報告 専務理事 平 瀬 久 義  
(2) 会計現況報告 常務理事 原 野 啓 二  
(3) 監査報告 監 事 永 江 正 廣

7. 決議事項  
第 1 号議案 一般社団法人福岡県学校歯科医  
会表彰及び慶弔規則の一部改正  
について 可決  
第 2 号議案 平成27年度一般会計収支決算に  
ついて 可決  
第 3 号議案 平成27年度基本財産積立金特別  
会計決算について 可決  
第 4 号議案 平成27年度職員退職積立金特別  
会計決算について 可決  
第 5 号議案 選挙管理委員会委員の選出につ  
いて 可決
8. 協 議
9. 閉 会 副 会 長 須ノ内 茂 子

## 第21回福岡県学校歯科保健研究大会開催ご案内

大会テーマ『歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して』

～生涯を通じて自らの健康保持増進を目指す健康教育～

◆実践活動報告①

「自ら健口行動ができる子どもの育成」  
～健康行動理論に基づく授業づくり、  
活動づくりを通して～

柳川市立垂見小学校 主幹教諭 森 山 秀 一  
養護教諭 吉 山 祐 子

◆基調講演

「併設病院とともにすすめる口腔ケア」  
長野県諏訪市立四賀小学校

養護教諭 伊 東 初 枝  
(元長野県花田養護学校 養護教諭)

◆休 憩

◆特別講演

「学校歯科健診に必要な知識と対応」

松本歯科大学障害者歯科学講座  
教 授 小笠原 正

◆実践活動報告②

「規則正しい生活習慣や病気を予防する習慣を身に  
付け、自ら健康管理ができる子どもの育成」  
～本校学校保健安全委員会と児童委員会活動の取り  
組み～

那珂川町立片縄小学校 保健主事 杉 野 菜穂子  
養護教諭 平 山 裕 子  
児童委員会

日 時 平成28年11月 5日 (土) 13:00～17:00  
(受付 12:30～)  
場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール

## 図画・ポスター・標語の審査会

〈門司〉大 溝 法 孝

5月30日（月）午後8時から門司歯科医師会館で学校歯科委員会が「お口の健康に係わる図画・ポスター・標語の審査会」を行いました。

初めに標語の審査が委員により行われ、小・中学校から寄せられた160点の作品から、中学1年の作品「歯磨きは 未来の自分へプレゼント」が最優秀作として選ばれました。

続いて行われた図画・ポスターの審査では、門司在住の穴吹哲二郎画伯をオブザーバーとしてお招きし、助言をいただきながら、門司区内の幼稚園・保育所・小学校・中学校から寄せられた132点の作品から、各部門（幼稚園・小学校低学年・高学年・中学校）の最優秀作を選定しました。

標語の審査では今年は応募数が多く、どれが良い作品なのかと、選定には各委員苦勞していました。

図画・ポスターでは低学年では色使いや構図を、高学年ではポスターとしての完成度を中心に評価していきました。今年は中学校の部で技術的に高いものが多く、絵や文字が細部にわたってていねいに描かれている作品には一同感心していました。

また、門歯入賞作品を標語8点、図画・ポスター12点選定しました。入賞作品は門司港栄町商店街アーケード内で6月4日から10日にかけて展示され、多くの市民に鑑賞されました。



穴吹画伯による審査の様子



作品例



最優秀作品4点



穴吹画伯による審査の様子

## 歯と口の健康週間

〈柳川山門〉松 藤 拓 之

「6（む）4（し）」にちなんで6月4日から1週間を「歯と口の健康週間」として、歯と口の健康に関する正しい知識の普及と歯科疾患の予防・早期発見・早期治療を徹底することにより歯の寿命を延ばし、健康の保持増進することを目的として、6月4日（土）本会歯科保健センターにて、歯の健康フェアを開催しました。

当日、久留米大学医学部歯科口腔医療センター教授の楠川仁悟先生をお招きして口の中のガン検診を実施、40名の来場がありました。また、歯科健診、歯みがき指導に子供からお年寄りまで来場があり、歯科健診にて御自分の「歯・口」を再確認され、熱心に歯みがきのやり方について指導を受け、染め出しにてみがき残しの部分を確認、おおいに盛り上がりました。またその後25名の児童がフッ化物ジェル塗布を受けました。

当日会場にて、歯科相談のコーナーを設け、口の歯に関する4名の相談がありまし

た。スライドやパソコン、顎模型を使い1件1件ていねいに説明し、納得して帰られました。

また、福岡県庁より健康チェックとして、保健師や栄養管理士による体脂肪測定、血管年齢測定と福岡県健康ポータルサイトの実演があり、口と歯と体の健康について皆様興味深々でした。

6月4日（土）歯の健康フェア当日は、あいにくの雨でしたが、そのなかを多くの方が来場され、また、ガン検診に於いては、予約制でありましたが、1人のキャンセルもなく皆さん、健康に関する意識が高いと感じました。

健康フェアに先立ち、柳川市・みやま市の児童にむし歯に関する、図画・ポスターを募集したところ4,317名の応募があり、厳正なる審査の上、優秀作品を決定。歯の健康フェア当日、市内の図書館ならびに柳川山門歯科保健センターに掲示。多くの父兄と児童でにぎわいました。



図画・ポスター展示



健康フェア

## 八幡歯科医師会における学校歯科保健活動について

〈八幡〉楠本俊司

八幡歯科医師会では、毎年学校歯科健診が始まる前の年度末に、学校歯科医研修会を行っており、今年度も平成28年3月17日（木）に八幡歯科医師会館において開催された。今年度から、健診の内容が一部変更になったことから、例年以上の学校歯科医並びに協力歯科医の出席の中、学校歯科健康診断早見表、学校歯科医の活動指針（平成27年改訂版）、学校歯科医ハンディノートに基づいて、主な改正点である「歯列・咬合」ならびに「CO要相談」を中心に健診基準の確認と徹底、CO・GOの意義と重要性などについて講演を行った。

本会における啓発事業として、7月30日（木）本会会館において「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語」コンクールの審査会を行った。今年度は、図画・ポスターが約140件、標語が約70件の応募があり、本会執行部役員ならびに地域保健委員会委員による厳正な審査により、本年度の入賞作品を決定し、その中から小学生低学年、高学年、中学生の部で、それぞれ1点ずつ県のコンクールに提出した。

また、フッ化物応用の啓発活動の一環として、イオン八幡東ショッピングセンターにて「フッ素イオン de ハッピーフェスタ」を9月4日（日）に開催した。福岡県衛生士会北支部にも協力していただき、無料歯科相談や口腔衛生指導、歯科矯正相談、年齢に応じた

「歯科クイズ」の実施、卵の殻にフッ化物を塗布し酸性の液に浸けた時のフッ化物の効果についての実験や、フッ化物洗口剤を実際に子供達に体験してもらった。天候にも恵まれたせいも、歯科相談に約160名、歯科クイズに約130名、フッ化物洗口に約150名、各コーナー合わせると延べ600名の来場者があり、予想を大幅に超える盛況であった。来場者の半数以上が、小、中学生とその保護者で、口腔内への関心が非常に高いことを実感することができた。また、同会場において「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」に応募いただいた全ての図画・ポスターを展示した。このフェスタを続けることによって、さらに地域住民、特に子供達が自分の口腔内への関心をより高めることができると考えている。



## 歯と口の健康フェア

〈八女筑後〉田 中 秀 明

6月5日（日）に「歯と口の健康フェア」を午前10時30分からサザンクス筑後大ホールにて、多くの会員と勤務スタッフの協力のもと開催しました。

フェアの内容は例年と多くは変わりませんが、大ホール内に歯みがき指導、RDテスト、咬合力テスト、フッ化物塗布コーナーを設け、他にお楽しみとして指模型（石膏模型）体験、バルーンアート、くじ引き、デンタルグッズのお土産のコーナーを設けました。大ホールを出て続くロビーでは、歯科健診、矯正歯科相談、口腔ガン検診、口臭測定相談のコーナーを設置しました。さらに今年も、昨年度人気があった保健所からの出張健康チェックコーナーも加わりました。

この健康フェアも少しずつ周知されてきたためか、ここ数年来場者は増える傾向にあります。特に今年は開場前より多く来場者が長蛇の列を作り、開場するとすぐに各コーナーが賑わいました。筑後市のゆるキャラである「はね丸くん」も今年はフェアの始まりから登場し、さっそく

1日歯科医師会長として任命され、会場内を何度も回って各コーナーの盛り上げに一役買ってもらいました。そして受付終了時刻までその賑わいは続き、来場者数は今までの最高480人を超えたとのこと。これには我々主催者側も驚くとともに、多くの来場者にフェアを楽しんでもらえたこと、盛況に終えたことを嬉しく思います。そして、今後も地域の口腔保健の推進のために事業継続の必要性を再確認いたしました。



## 若松歯科医師会の学校保健活動について

〈若松〉 今 井 顯

本会での学校保健活動の主なものは、以下の6つがあります。

- (1) 保育所、幼稚園を含めた学校歯科健診及び学校保健委員会等を通じた歯科保健活動
  - (2) 「あんしん！お口フェア」での「よい歯の学校表彰式」
  - (3) 若松区保健・医療・福祉・教育・地域連携推進協議会（若松あんしんネットワーク）の構成組織である「子育てを考える会」と「子育て支援部会」に対する情報提供、啓発活動
  - (4) 保育所、幼稚園を対象とした「開口と口腔疾患」についての調査
  - (5) 学校保健会若松支部への参加
  - (6) 福岡県学校歯科保健研究大会への参加
- 今回は、主なものを報告いたします。

学校歯科健診では、若松区内には保育所・幼稚園27施設、小学校15校、中学校6校、高等学校3校が存在し児童、生徒数は例年とあまり変わらず延べ約10,000名の児童、生徒に対し健診を70歳以上の先生方を免除とし39名の歯科医師会員で園医・校医・協力医を2年の輪番制で行っています。これにより短時間で質の高い歯科健診が可能になり、不公平なく会員全体の負担を減らし、各自が学校保健の意識を持つとともに効率的に健診を行う事ができます。

また、毎年若松区医師会と合同で学校関係者（学校医・学校歯科医・学校長・保健主事・養護教諭・教育委員会等）との学校健診合同懇談会を若松区医師会館にて開催してい

ます。今年度より若松薬剤師会にも参加を募り合同懇談会を開催しました。薬剤師会の参加によりさらに、相互の理解と連携を深めることができたと思います。この懇談会の中で、平成28年度学校歯科健康診断改正について主な改正点を学校関係者に説明しました。また、歯科医師会から、楽しく食べるために“咀嚼と姿勢”について10分程度のお知らせをしました。なお、会員には日を改め学校歯科医、協力医の参加を求め、歯科医師会館にて学校歯科健診説明会を開催し改正点を含め周知徹底しバラツキの少ない健診に努めました。

また、初めての試みとして、学校保健会若松支部では、学校保健委員会の設置はあるが開催されている学校は少ないので、開催の促進に向けた講演会をパネルディスカッション形式で開催しました。教育委員会係長から学校保健委員会の目的と若松の現状の説明をいただき、パネルディスカッションでは小学校校長代表が座長を、医師会理事、薬剤師会理事、中学校校長代表、養護教諭代表、歯科医師会理事が各団体パネラーを務め、その意義・要望、なぜ開催されないのかなどについて討議しました。

以上のように当会は、若松区医師会、若松薬剤師会との三師会の連携が上手くできているのが特徴であると思います。この特徴を生かし今後も学校保健活動を通し、地域の子供たちの口腔環境の改善や意識向上はもちろん、保護者や、学校関係者等の方々の歯科保健に対する関心の向上に努め、子供たちの健全な成長をサポートしたいと考えています。



健診風景



合同懇談会風景

## 好きこそものの上手なれ

〈朝倉〉古賀 崇道

5月28日（土）午後2時から西日本シティ銀行甘木支店で、平成28年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」と、「歯・口の健康啓発標語コンクール」の審査会が行われた。

今年の参加者は幼稚園が96名、小学生の参加者が2,042名、中学生の参加者が698名と例年よりも多かったが、残念ながら高校生は不参加だった。

審査委員として朝倉学校歯科医会委員会の委員に加えて、例年お世話になっている甘木中学校や南陵中学校の美術教諭をされていた徳永武洋先生に加わって頂き、幼稚園児の作品から年齢順に審査を開始した。絵画の知識が乏しい委員も多い為、その都度、徳永先生の解説を参考に審査を行った。

まず幼稚園児の絵の描き方として、顔を全面に描くことが多く、目・口も大きく描き、鼻はあまり気にしていないことが多い。上手な子供になると、歯ブラシやうがい等を取り入れ、動きのある絵を描くこともある。

小学生になると描かれたものに笑顔が見られるなど、表情が豊かになってくる。また、幼稚園児は1人の絵を描くことが多いのに対して、数人を対象に描く子供も多かった。

中学生にもなると最早プロも顔負けの上手さで、徳永先生の話ではこの子供たちの多くはアニメや漫画に影響を受けており、それらをよく模写やスケッチしているということ

伺った。また、このようなコンクールをきっかけに絵を描くことがさらに好きになり、将来、プロのイラストレーター等の仕事に携わることも少なくない事も伺った。

今回のコンクールを機に、今回の受賞者たちがさらに絵を描くことを好きになってくれれば嬉しく思うと共に、審査が子供たちにどれだけの影響を与えるか痛感した。

これらの作品は西日本シティ銀行甘木支店に展示され、6月12日にピーポート甘木で行われた『歯ミング21 in あさくら』において表彰を受けた後に、ピーポート甘木に併設されている甘木図書館で1カ月ほど展示され、最後にイオンモール甘木店にてやはり1カ月ほど展示される予定だ。



## 「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語」審査会と表彰式

〈飯塚〉丸 林 睦 明

平成28年6月4日のむし歯予防デーに因んで、「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」ならびに、「歯・口の健康啓発標語」と題して飯塚市、嘉麻市、嘉穂郡桂川町の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校にポスター、標語を募集しました。

今年の審査会は5月26日（木）午後7時より飯塚歯科医師会館にて行われました。

今年度は図画・ポスターが、幼稚園の部57名、小学生の部308名、中学生の部32名、特別支援学校の部3名と、標語は小学生221名、計621名の応募がありました。

審査は飯塚市教育委員会の吉村浩一先生と、桂芳州先生にお願いしました。応募数も多く、どの作品も個性豊かで、表現力にあふれる力作ぞろいのため、審査員の先生方を多めに悩ませ、手伝いをしていただいた我々学校歯科役員を楽しませてくれました。

難審査の末、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校からそれぞれ会長賞、天賞、地賞、仁賞、佳作が選出され、計66点の作品が入賞を果たしました。

展示は今までは市内の公共施設を借りて行っていましたが、今年からは飯塚歯科医師会館が新築されて最初の試みとし

て、会館にて開催することになりました。

入賞作品は6月5日飯塚歯科医師会館2Fに展示され、午前11時30分より幼稚園児・中学生の入賞者表彰、午後1時より小学校低学年・及び高学年入賞者の表彰が行われました。

入賞した児童、生徒には田中敏治飯塚学校歯科医会会長代行から表彰状と記念品の贈呈が行われました。

多くの家族連れでにぎわった会場では、展示された自分の作品を見つけて喜ぶ児童やその家族、自分の作品の横で記念写真を取る家族など、微笑ましい状態でした。



## 糸島歯科医師会学校歯科委員会の活動について

〈糸島〉加納 啓一郎

糸島歯科医師会では毎年、糸島市・糸島保健福祉事務所との共催で「歯の健康のつどい」を開催している。今年は6月4日（土）に開催したが、雨模様にもかかわらず1,144名の来場者があり大盛況であった。

その「歯の健康のつどい」では糸島歯科医師会の全会員とスタッフ、歯科衛生士会、糸島市長以下担当職員、糸島保健所長以下職員、後援として参加して貰っている糸島保健所管内栄養士研究会等が、それぞれのコーナーにおいて、ブラッシング指導や楽しい人形劇、口腔内の健康の重要性について地域住民に啓発活動を行った。

さて学校歯科委員会では昨年11月11日に、糸島市内の可也小学校において1年生並びにその保護者に対し、ブラッシング指導を行った。当日は歯科医師会会員8名とスタッフ13名がそれぞれ班にわかれ、児童に歯垢染色液で染め出した後、ブラッシング指導をし、口の中の健康維持のためにはどうすればよいか、ビデオ

等を利用し説明を行った。限られた時間内での指導説明ではあるが、少しでも歯の健康について興味を抱いてもらえればと思っている。

また、毎年学校歯科健康診断が始まる前の例会時に、歯科健康診断時の注意事項を会員に対して「学校歯科医ハンディノート」に基づき説明を行っている。今年度は新たな指針が出されたので、診断基準を周知徹底させるべく説明会を行った。学校歯科健診では限られた時間内で多くの児童、生徒の診査をするわけであるが、スクリーニングという概念においては決して無駄な診査ではなく、疾患のある児童、生徒にとっては歯科受診をするいい機会になっていると思われる。その上で児童生徒にとって口腔内の健康維持に興味を持ち、むし歯のない健康な歯を保つ意義について最大限の努力を持ち続ける手助けになれるよう、学校歯科委員会はこれからも、活動していかなければならないと思う。



# 西日本子ども歯科保健・健康会議設立大会について

副会長 須ノ内 茂子

平成28年5月7日（土）午後3時より福岡県歯科医師会館5階中ホールにて西日本子ども歯科保健・健康会議《設立大会in2016》が主催：福岡県学校歯科医会設立準備委員会 後援：福岡県教育委員会・福岡市学校歯科医会・福岡県歯科衛生士会にて開催されました。

来賓として一般社団法人日本学校歯科医会会長丸山進一郎先生が出席されました。先生には来賓挨拶に加え、第20回記念日本学校歯科保健・教育研究会で発表された小中一貫校での取り組み事例について報告していただきました。



一般社団法人日本学校歯科医会 会長 丸山 進一郎



福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野教授 尾崎 正雄

15時20分より「それぞれの立場から食を考える」というテーマの下、パネルディスカッションが行われました。座長は九州歯科大学安細敏弘教授、パネリストは春日西小学校福

原秀伸校長、福岡歯科大学尾崎正雄教授、みらいクリニック内科医院今井一彰院長で参加者からの活発な質疑応答がなされました。



この会の設立に関する経緯は、福岡県学校歯科医会の年間事業「歯・口の健康づくり推進協議会」を母体とし、東京で年2回開催されている「日本学校歯科保健研究会」で研鑽を積み、その成果を基に福岡で立ち上げることが決定されました。

目的は、学校関係者、医療専門職、保護者が一体となって地域のネットワークを形成し、問題を解決していくという地域学校保健委員会の様な立場になっています。

構成メンバーを産学官に働きかけ、賛同する人を幅広く募る関係上、運営予算は入会金、年会費、賛助金で賄っていくと会則の中に入っています。

当日の参加者は、学校歯科医、歯科衛生士、歯科衛生専門学校長、福岡東医療センター、看護師、学校長、養護教諭、栄養教諭、大学関係者（栄養学科教授 医療短期大学教授 福岡教育大学）行政関係（市役所健康福祉部、市教育委員会）等61名でした。

参加者からは、大変有意義であった、もっとたくさんの方々に情報提供して欲しい、知らない人もあったとの声をいただきました。

大会後、総会を開き役員を次のように決定いたしました。

会長 福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野教授 尾崎正雄、副会長日本学校歯科医会副会長 杉原瑛治、九州歯科大学

地域健康開発歯学分野教授 安細敏弘、福岡市学校歯科医会会長 上田克己、小学校校長 福原秀伸、事務局長 須ノ内茂子、事務補佐 柳迫正俊 任期は2年間です。

この会の指針を当日パンフレットから抜粋し掲載しました。会員を募集していますので、内容をご理解いただき賛同される方をお待ちしています。



## 指 針

現在、文部科学省では、(財)日本学校保健会の監修の下、養護教諭の指導資料、生活習慣の予防マニュアルを始め多くの指導資料が発刊されています。また、日本学校歯科医会作成のマニュアル等は学校教育関係者にとって、示唆に富む資料で有り、この指針に沿った歯科保健指導が多くの学校で実施されているものと考えます。

また、福岡県においては、歯・口の健康づくり推進協議会、県域や各地区での養護教諭研究会、現在20回になる福岡県学校歯科保健研究大会、九州地区では、各県持ち回りでの九州地区健康教育研究大会が開催され、学校歯科保健の最新情報や先進校の実践等の情報を得ることができます。

しかし、そのような資料を目にしたたり、研修に参加する機会は学校歯科保健に関わる一部の教職員や養護教諭にあるのが現状です。

これからの学校歯科保健教育の充実と発展を考えた時に、子ども達と日々接している学級担任をはじめ、多くの学校関係者が歯・口の健康づくりに取り組む必要があると考えます。教師の指導に関する資質向上はもとより、学校や家庭でのさりげない励ましや気遣いの言葉掛けが、子ども達の生きぬく力の醸成に資することとなります。

一方、学校関係者や保護者が学校生活や日常生活の中で気になっていることや聞きたいことがあっても適切な機会がないのが現状です。学校関係者、医療専門職、保護者が一体となって地域のネットワークを形成しながら問題解決していくことが求められています。

そこで、私たちはさまざまな日常的な課題を共有し、連携を図っていくしくみが必要と考え、ここに西日本子ども歯科保健・健康会議を立ち上げる次第です。

## 歯 鏡

### 「学校歯科医35年を振り返って」

学校歯科医としてももう「35年経ったのかなと思う反面、まだ35年なのか」とも思います。どちらかと云えば自分はまだ35年

かと思う思いの方が強いです。最初に学校歯科医に任命されたのは防衛大学の麓にある横須賀市立小原台小学校でした。とてもあれから35年も経ったとは思えません。

それから何校かの学校歯科医(幼稚園から中学校)を経験し、自分が校医でない学校にも何校か歯・口の健康診断に行かせてもらいました。そのなかでも最も印象深いのは、「横浜山の手の共立学園」というお嬢様女子高校でした。実際健診をしてみると未処置歯がほとんどなのです。かといって、健全歯がもの凄く多いと云うわけではなく、推測するにこの生徒は定期健診を励行し、もしも蝕がみつければすぐ処置するのだと思いました。たしかに処置歯が多かったです。

結果から申し上げると地方よりも都市部のほうが、また高収入の家庭ほど未処置が少ない傾向にあると感じました。

我々学校歯科医の目標は、歯・口を中心に児童・生徒の健康増進と健やかな成長を目指す事だと考えます。この実践には歯磨き指導・フッ化物の応用・食育指導などが有効だと考えられますが、そのためには定期的な歯科医院への受診が不可欠です。先ず歯科受診率の向上です。そこで行政も児童・生徒の医療費無償化推進をお願いしたいと考えます。それにより児童・生徒の「むし歯ゼロ」への道が開けるのではないのでしょうか。

学校歯科医会もその目標に向かって邁進する所存です。

学校歯科医は行政から委嘱を受けた地方公務員非常勤特別職の身分であり、加盟団体はあくまで学校歯科医を教育委員会に推薦するだけであり、行政・教育委員会と加盟団体間の契約により学校歯科医の業務がなされるものではありません。学校歯科医は非常勤地方公務員として、その業務の対価として校医手当を得ており、児童生徒の歯・口の健康を守るプロフェッショナルとして、その活動に自覚と誇りをもって取り組んでいただきたいと思います。

普及指導委員会担当理事 一之瀬 達也

# 第89回 日本学校歯科医会総会

本会杉原会長、日本学校歯科医会副会長に就任

副会長 三 箇 正 人

平成28年3月23日（水）午後1時30分より、日歯会館にて第89回日本学校歯科医会総会が開催され、本会から、平瀬、柳迫、原野、三箇の4名が代表会員として、杉原会長は、日学歯役員として出席した。今回の総会は、平成28年度の事業計画、予算を決定する総会であったが、任期半ばで前清水恵太会長が辞任したのに伴い、過日会長予備選挙が行われ、丸山進一郎新執行部の理事選任の選挙も行われた。

齊藤愛夫会長は、挨拶の中で、前会長の後を受け、今日まで種々の問題に真摯に取り組んだ内容の説明に加え、学校健診の内容に変更があった点、また、鈴木元事務長の不正に対する訴えが検察に受理される旨の説明がなされた。

続いて、日本歯科医師会会長に新しく就任された堀憲郎会長より来賓挨拶があり、日学歯執行部が行政との諸問題を解決され、改革が進んでいることに敬意を示し、共々に力を合わせ前進したい旨激励があった。

引き続き、平成27年度日学歯会長表彰が、全国246名の学校歯科医の先生になされた。本県からは、原田一男先生、石邊節雄先生以下18名が受賞された。

報告事項として、議事運営特別委員会報告、文部科学省訪問報告、予算決算特別委員会報告、会長予備選挙報告、会務報告、会計現況報告、学術委員会報告、生涯研修制度運営委員会報告、生きる力をはぐくむ歯・口の健康

づくり推進委員会報告、モデル事業推進委員会報告、普及委員会報告、広報委員会報告、各種表彰委員会報告、各種大会報告、内部統制検討臨時委員会報告、中間監査報告等々がなされた。

以上の会長挨拶から報告事項に関する質疑に入り、経費の削減、CO要相談の件、事業の継続性、元事務長問題等々多岐にわたり答弁がなされた。

議事に入り、第1号議案 平成27年度補正予算、第2号議案 平成28年度事業計画、第3号議案 平成28年度収支予算が上程され、原案通り可決決定。第4号議案 理事選任の件に関しては、選挙管理委員会に委ねられ、丸山進一郎氏以下21名の候補者全員が選任された。

尚、総会終了後に理事会が招集され、代表理事に丸山進一郎氏が選出され、丸山新執行部で本会会長の杉原瑛治氏が、副会長として支えていくこととなった。



# 第90回 日本学校歯科医会総会

常務理事 柳 迫 正 俊

平成28年6月21日（火）、日本歯科医師会館において第90回日本学校歯科医会総会が開催された。本会からは代表会員として、三箇副会長、須ノ内副会長、平瀬専務、柳迫の4名と、日学歯副会長として杉原会長が出席した。

丸山進一郎日学歯会長の挨拶では、新執行部を挙げて本会の発展を図るべく精一杯尽力していく決意を述べられた。また、熊本地震に対しては被災学校復旧のため、日学歯より教育委員会を通じて義援金を送ったことを報告された。続いて堀憲郎日歯会長が来賓の挨拶をされ、日歯と日学歯で共通の課題をもって取り組んでいくことを述べられた。そのあとは日程に従い特別委員会報告、会務報告、各委員会報告があり、前回質問した広報費についても新たに内容を精査するとの回答があり、新執行部の今後の取り組みに対する意気

込みが感じられた。続いての事前質問においては、「CO要相談」、生涯研修制度、前事務長不祥事問題、公益法人移行等の質問に対して予定の時間をオーバーするほどの活発な議論がなされた。監査報告のあと議事に入り第1号議案 平成27年度貸借対照表及び損益計算書の承認が上程され、質疑応答のあと賛成多数により可決された。第2号議案 平成27年度次期繰越収支差額処理の件については、定款との関係上取り下げとなり、来年度予算の中で反映されることになった。

日程終了後、熊本県の大林代表会員より日学歯からの義援金に対するお礼と、涙ながらに語られた地震当日の状況に心をうたれ、本日一番の励ましの拍手が送られた。続いて全国学校歯科保健研究大会の案内が本年度開催地の東京都よりあり閉会となった。



## 平成27年度「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修会 併催 福岡県学校歯科医新任研修会

学術委員会担当理事 楠本俊司

平成28年2月20日（土）午後2時50分から、福岡県歯科医師会館5階視聴覚教室において、「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修会 併催 福岡県学校歯科医新任研修会が53名の参加のもとに行われた。

「学校歯科医生涯研修制度」は、平成21年4月より「全ての学校歯科医が歯科医師としての専門性を活かしながら教育者としての資質を備え、積極的に学校歯科保健活動を推進し、生涯にわたってその資質の維持と向上を図り幼児、児童生徒の歯・口の健康増進に貢献すること」を目的に掲げ、全国で実施されている。

基礎研修では全国共通のテキストを用い、学校歯科医としての共通認識を持ち、「保健概念」「保健教育」「保健管理」「組織活動」に関する基礎的な事項について研修を行っている。



杉原会長

今年度は、基礎研修会と同時に、新任研修会も併催した。また、平成28年度より健診の項目が一部変更になることから、

各郡市区の学校歯科保健の担当者12名が研修3「保健管理」のみ受講する形式も取られた。



三箇副会長

一般社団法人 福岡県学校歯科医会 杉原瑛治会長による開会の挨拶ならびに会務報告ののち、三箇正人副会長による「学校歯科保健の概念を把握する」と題して、研修1が行われた。学校教育の目的や理念について、学校保健の中の学校歯科保健の位置づけについて、学校歯科医の学校歯科保健における役割について、学校保健安全計画について、学校保健委員会、地域学校保健委員会について研修が行われた。

続いて、福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課 指導主事 松崎美枝先生による「学校歯科保健における保健教育を理解する」と題して、研修2が行われた。保健教育の領域と構造について、子供の発達段階に即した学校歯科保健教育のねらいや内容について、学校における歯科保健教育の内容について、健康診

断の事後措置としての歯科保健教育について研修が行われた。



福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課  
指導主事 松崎美枝先生

休憩の後、福岡県学校歯科医会 平瀬久義専務理事による「学校歯科保健における保健管理を理解する」と題して研修3が行われた。定期健康診断の意義について、就学時健康診断および臨時健康診断の意義について、歯・口腔の健康診断について、保健調査の意義について、COやGOの意義について、健康診断の事後措置の意義について、健康相談の意義について、健康診断結果の分析と評価による健康課題への対応計画について、学校管理下の傷害について、学校保健安全法に基づく医療券について、研修が行われた。特に平成28年度より健診の内容が一部変更になることから、改訂の経緯や内容、注意点などについて、一般社団法人日本学校歯科医会発行「学校歯科医の



平瀬専務理事

活動指針—平成27年改訂版—」を参考にして研修が行われた。

最後に、福岡県学校歯科医会 原野啓二常務理事による「学校歯科保健における組織活動を理解する」と題して研修4が行われた。教職員の組織 協力体制および校内研修の重要性について、家庭およびPTAとの連携のあり方について、地域の関係機関・団体との連携および学校間の連携のあり方について、学校歯科医とかかりつけ歯科医との連携のあり方について、学校保健委員会・地域学校保健委員会について研修が行われた。



原野常務理事

質疑応答では、CO要相談の基準について、また、小学校におけるフッ化物洗口事業についての質問があり、3時間を超える研修会は終了した。

現在、約7割の会員の学校歯科医の先生方が、基礎研修会を受講されていますが、まだ3割の先生方が未受講です。今後も福岡県学校歯科医会では、基礎研修会を開催し、より多くの先生方に受講していただければと考えています。また、日本学校歯科医会では、基礎研修会の修了者に対し、より実践的な内容についての専門研修が行われており、さらにステップアップしていただければと考えています。

平成 28 年度

## 学校歯科健康診断改正について

### 歯列 ・ 咬合

改正前

反対咬合（3 歯以上の反対咬合）

改正後

下顎前突（前歯部 2 歯以上の逆被蓋）

### CO（要観察歯）

主として視診にて明らかなう窩は確認できないが、う窩の初期病変の兆候（白濁、白斑、褐色班）が認められ、その状態を経時的に注意深く観察する必要のある歯。具体的には、

改正前

①小窩裂溝において、エナメル質の実質欠損は認められないが、褐色、黒色などの着色や白濁が認められるもの

②平滑面において、脱灰を疑わしめる白濁や褐色班等が認められるがエナメル質の実質欠損（う窩）の確認が明らかでないもの

③精密検査を要するう蝕様病変のあるもの（特に隣接部）

改正後

①小窩裂溝において、エナメル質の実質欠損は認められないが、褐色、黒色などの着色や白濁が認められるもの…

☆学校歯科医の所見欄に「CO」

②平滑面において、脱灰を疑わしめる白濁や褐色班等が認められるがエナメル質の実質欠損（う窩）の確認が明らかでないもの…

☆学校歯科医の所見欄に「CO」

③《「CO要相談」の新設》

隣接面や修復物下部の着色変化、①や②の状態が多数認められる場合等、地域の歯科医療機関との連携が必要な場合が該当する。

☆学校歯科医の所見欄に「CO」ではなく「CO要相談」と記入する。

※「CO」は経過観察、「CO要相談」は受診のおすすめ



# マウスガード講習会

普及指導委員会 樋口 太郎

今回は「マウスガード講習会」についてご紹介します。

平成21年4月から施行された学校歯科保健安全法で「学校においては児童生徒等の安全の確保を図るため・・・(中略)・・・安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない」と規定しています。学校安全計画の作成において、歯、口の外傷から児童を守る手段の一つとしてマウスガードの装着は非常に有効だと思われれます。そこで学校歯科医への啓発、普及をしていくことが重要だと考え、普及指導委員会では毎年、マウスガード講習会を開催しています。

学校内での活動、特にクラブ活動において外傷、けがの事故はよく起こります。学校歯科医として受傷した児童への迅速かつ適切な処置について知識や手技を習得することは必須であります。

またスポーツ活動においてはマウスガードを装着することでけがの防止、軽減を図れることを学び、カスタムメイドタイプのマウスガードについての知識、作製法を身につけることが重要です。

本講習会の構成ですが、前半は学校歯科医の役割、マウスガードに関する知識、マウスガードの作製法を講義形式で行います。

後半は事前に準備していただいていた受講生ご自身の歯牙模型を用いて実際にマウスガードを作製していただきます。作製したマウスガードを調整、装着することで新たな疑問点が出てきたり、装着感が体験できることにより実際の臨床に大変役に立つものになっております。まだ受講されていない先生方、マウスガードに関心のある先生方ぜひ次回のご参加をお待ちしております。



# 表彰おめでとうございます

## ◎春の叙勲

◇瑞宝双光章



梶 島 正 保  
(柳川山門)

## ◎福岡県教育文化表彰

日 時 平成28年2月13日(土) 場 所 福岡リーセントホテル



須ノ内 茂 子  
(宗 像)



川 野 未 禰 朗  
(大牟田)



吉 岡 眞 一  
(八 幡)

## ◎福岡県学校歯科医会会長表彰

日 時 平成28年3月19日(土) 場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール

岡 本 学 (田 川)	仲 吉 信 彦 (筑 紫)	森 岳 秀 (筑 紫)
中 村 玲 子 (八女筑後)	馬 田 研 一 (八女筑後)	樺 島 邦 仁 (柳川山門)
菊 池 威 彦 (柳川山門)	古 賀 俊 一 郎 (柳川山門)	

## ◎福岡県学校歯科医会会員表彰

日 時 平成28年3月19日(土) 場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール

本 坂 裕 之 (京 都)	藤 田 勝 也 (直 方)	丸 林 睦 明 (飯 塚)
佐 藤 精 高 (筑 紫)	白 水 智 明 (筑 紫)	細 川 洋 幸 (筑 紫)
永 尾 徳 彦 (久 留 米)	大 坪 裕 一 (八女筑後)	本 田 有 志 (八女筑後)
山 下 勇 (八女筑後)	城 戸 幸 博 (大川三潁)	安 田 誠 (柳川山門)
河 野 真 一 郎 (大牟田)	下 村 英 二 (大牟田)	河 野 博 子 (戸 畑)
吉 永 久 秋 (若 松)	小 柳 雅 治 (八 幡)	

## ◎福岡県学校歯科医会功労者表彰

日 時 平成28年3月19日(土) 場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール  
 黒石 崇之(田 川) 楠本 俊司(八 幡) 原野 啓二(遠賀中間)

## ◎職員表彰

古賀 えりこ

## ◎団体表彰

日 時 平成28年3月19日(土) 場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール  
 田川学校歯科医会

## ◎平成27年度一般社団法人日本学校歯科医会会長表彰

日 時 平成28年3月23日(水) 場 所 日本歯科医師会館 1階 大ホール

石 邊 節 雄 (京 都)	松 本 武 (飯 塚)	阿 部 通 夫 (宗 像)
志 方 昌 信 (宗 像)	安 増 惇 夫 (宗 像)	堤 博 幸 (粕 屋)
井 上 良 魁 (筑 紫)	船 越 知 行 (筑 紫)	工 藤 信 文 (筑 紫)
保 坂 勝 行 (小郡三井)	後 藤 泉 (小郡三井)	倉 田 俊 雄 (久 留 米)
下 川 恭 夫 (久 留 米)	白 谷 幸 卓 (八女筑後)	高 山 芳 樹 (八女筑後)
原 田 一 男 (大川三潁)	安 野 卓 典 (柳川山門)	永 井 晴 彦 (遠賀中間)

### 事業報告

### 研究・研修事業

#### 歯・口の外傷及びマウスガード講習会

日 時 平成28年1月23日(土) 15:00~16:45  
 場 所 福岡県歯科医師会館 4階 404研修室  
 参 加 者 会員 5名

#### 第20回記念 日本学校歯科保健・教育研究会

日 時 平成28年2月27日(土) 12:00~17:00  
 場 所 東京都中央区久松小学校  
 出 席 者 須ノ内副会長

#### 「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修会 併催 福岡県学校歯科医新任研修会

期 日 平成28年2月20日(土) 14:50~18:30  
 会 場 福岡県歯科医師会館 5階 視聴覚教室  
 受 講 者 57名  
 研修内容  
 研修1 「学校歯科保健の概念を把握する」  
 福岡県学校歯科医会 副会長 三箇 正人  
 研修2 「学校歯科保健における保健教育を理解する」  
 福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課 指導主事 松崎 美枝  
 研修3 「学校歯科保健における保健管理を理解する」  
 福岡県学校歯科医会 専務理事 平瀬 久義  
 研修4 「学校歯科保健における組織活動を理解する」  
 福岡県学校歯科医会 常務理事 原野 啓二

#### 第62回「歯の祭典」(大牟田歯科医師会)

日 時 平成28年6月4日(土) 15:00~  
 場 所 オームタガーデンホテル  
 出 席 者 杉原会長・平瀬専務理事

#### 第33回「歯と口の健康フェア」(京都歯科医師会)

日 時 平成28年6月5日(日) 10:00~  
 場 所 苅田町「パンジープラザ」  
 出 席 者 杉原会長

#### 第39回『歯を守る集い—食と健口づくりフェスタ2016』 (筑紫学校歯科医会)

日 時 平成28年6月5日(日) 11:00~  
 場 所 春日市 いきいきプラザ  
 出 席 者 須ノ内副会長

### 会務報告

### 各種会議・会員現況報告

#### 平成27年度

12月5日 第8回常務理事会  
 12日 第5回学術委員会  
 12日 第3回普及指導委員会  
 12日 第5回制度調査委員会  
 12日 第4回広報委員会  
 19日 第8回理事会  
 19日 第5回広報委員会  
 1月9日 第9回常務理事会  
 23日 第2回定時監査会  
 23日 第4回普及指導委員会  
 30日 第9回理事会  
 2月6日 第10回常務理事会  
 12日 福岡県歯・口の健康づくり推進協議会  
 13日 第5回普及指導委員会  
 13日 第6回制度調査委員会  
 20日 第6回学術委員会  
 27日 第10回理事会  
 27日 平成27年度臨時総会(第103回)正・副議長(予定者)打合せ会  
 3月5日 第11回常務理事会  
 12日 第6回普及指導委員会  
 19日 平成27年度臨時総会(第103回)  
 26日 第11回理事会

#### 平成28年度

4月9日 第1回常務理事会  
 16日 第1回学術委員会  
 23日 第1回理事会  
 30日 第1回制度調査委員会  
 5月14日 第2回常務理事会  
 14日 第1回定時監査会  
 21日 第2回学術委員会  
 21日 第1回普及指導委員会  
 28日 第2回理事会  
 28日 平成28年度臨時総会(第104回)正・副議長打合せ会  
 6月4日 第2回普及指導委員会  
 11日 平成28年度臨時総会(第104回)  
 18日 第3回理事会  
 18日 第1回広報小委員会

#### 会員現況報告(平成28年6月1日現在)

加盟団体名	会員数	加盟団体名	会員数
京 都	55	久 留 米	56
豊 前 築 上	26	八 女 筑 後	55
田 川	42	大 川 三 潁	25
直 方	39	柳 川 山 門	38
飯 塚	66	大 牟 田	44
宗 像	57	門 司	31
粕 屋	28	小 倉	84
糸 島	8	戸 畑	5
筑 紫	84	若 松	5
朝 倉	27	八 幡	82
小 郡 三 井	25	遠 賀 中 間	38
浮 羽	19	合 計	939

東地区228名、西地区177名、南地区289名、北地区245名

## ◎予 告

○第21回福岡県学校歯科保健研究大会  
日 時 平成28年11月5日（土）午後1時00分～  
場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール

○マウスガード講習会  
日 時 平成29年1月21日（土）午後3時00分～  
場 所 福岡県歯科医師会館 4階 404研修室

## 物 故 会 員

自 平成27年11月2日 至 平成28年6月1日

ご冥福をお祈り致します

安河内 茂 68才（粕 屋）

小 笹 勝 利 71才（糸 島）

### 福岡県学校歯科医会 ホームページ

<http://www.fk-gakusi.jp>

#### ●パソコンからアクセス

福岡県学校歯科医会



Click!

#### ●スマートフォンからアクセス

右記QRコードを読み取り、  
本会ホームページに、  
アクセスしてください。



一般社団法人 福岡県学校歯科医会  
Fukuoka Association of School Dentists

歯・口の健康教室 学校保健 Q&A Link 県学歯会報  
歯と口の健康週間 歯・口腔の健康診断集計

子どもたちの口腔の健康を守るために！

TOPページ 県学歯の概要・構成 事業活動 大会・研修会 学校歯科健康診断

topics

平成28年度より施行される健診についてUPしています	2016.06.06	NEW
「平成28年度歯・口の健康に関する設置・ポスターコンクール 2016.04.21 ならびに歯・口の健康啓発権威コンクール表彰賞」についてUPしました	2016.04.21	
平成28年度行事予定についてUPしました	2016.04.01	
平成28年度事業計画についてUPしました	2016.04.01	
事業活動に会誌・事業一覧ページをUPしました	2016.04.01	
平成28年度学校歯科健康診断の一部改訂のお知らせをUPしました	2016.03.09	
学校安全webにリンクいたしました	2016.03.07	
平成27年度「学校歯科医生涯研修制度」基幹研修会 開催 福岡県学校歯科医新任研修会を開催いたします	2016.02.29	

ポスター・権威コンクール

## 編 集 後 記

この度、熊本県などでの一連の地震により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災から5年経ち大きな地震もありませんでしたが、阿蘇山や桜島の噴火等で、地下が活発化しているとは思っていませんでした。まさかこんな身近で大規模な地震災害が起こるとは思いもしませんでした。柳川での揺れでは平成17年の福岡県西方沖地震の方が長く揺れた様に感じましたが、ニュースを見て被害の大きいことに驚きました。今回の地震は前震と本震があり、大分方面までと広い範囲で起こっている予測不能の地震だそうで、油断は禁物です。学校は休校が多く一部では担任の先生達が児童生徒の避難先を見回り、声掛けをされてあるそうです。心のケアがとても大切だそうです。学校歯科医もなにか生徒たちに寄り沿って、出来る事がないか考えたいものです。

話は変わりますが、今度第29期福岡県学校歯科医会広報委員会の委員としてお仕える事になり、あまりの重責に押しつぶされそうです。足を引っ張らないよう気を付けて頑張っていこうと思います。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

広報委員会委員 安田 誠



糸田祇園山笠

## 県学歯会報

第 89 号

毎年2回発行

発行人 杉原 瑛治

発行所 〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-43  
一般社団法人 福岡県学校歯科医会  
TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599  
E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp  
U R L <http://www.fk-gakusi.jp>

印刷所 〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町12-29  
株式会社大里印刷センター

TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715